

需要回復を視野に様々なセミナーを実施

「新たなGOTOトラベル」への期待も高まる

テーマ別観光と地域を 掛け合わせ

4月1日から地域観光事業支援策である「県民割」の対象地域を拡大した「地域ブロック割」が展開され、「新たなGOTOトラベル」への期待も高まる中、JATAでは旅行需要の回復に向けて、会員各社を対象とする様々なセミナーを実施していきます。

5月17日から19日までの3日間わたって開催される「テーマ別観光×デステイネーションセミナー」では、各省庁が取り組むテーマ別観光施策と各地域の取り組みを紹介するだけでなく、北海道・東北・九州・沖縄の4エリアでのテーマ別観光の具体的な先進事例も報告し、施策や事例への理解を深めるとともに販売促進や商品造成への活用を図ります。

JATA国内旅行推進部の高井晴彦部長は「テーマ別観光と地域の取り組みを掛け合わせて、相関性や相乗効果を追求できるセミナーにしたい」と説明。加えて今回は日本アドベンチャーツーリズム協議会や日本エコツーリズム協会からも先進事例を紹介します。

観光地マーケティングの実践を学ぶ

また、JATAは、観光地マーケティングとデジタル分析のスキル習得を目的とするセミナーの開催も予定しています。

高井部長は「観光を通じた地方創生を推進していくには、観光地マーケティングの基礎的な概念を理解することが必須であるだけでなく、観光地マーケティングに求められるデジタル分析のスキル習得も不可欠となる」と指摘。「仕上げとしてマー

ケティングを実践している先進地域の実務者とのオンラインディスカッションも実施して、現地で即活用できるセミナーにしたい」と強調しています。

上期は6月13日、14日、21日、下期は11月頃に開催されるセミナーは、オンラインとリアルハイブリッド方式により3日間のプログラムで構成。2日目には、内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部)と経済産業省が2015年から提供している「地域経済分析システム(RESAS)」や日本版DMO・観光地域づくりに資するマーケティングツール「観光予報プラットフォーム」などを活用して、観光地マーケティングの実践を学ぶことも出来る内容となっています。

さらに、JATAでは、7月8日

旅行テーマの多様化や深掘りに貢献

さらに、JATAでは、7月8日

と11月25日にツアー登山セミナーも開催する予定です。

2003年に旅行業ツアー登山協議会を設立したJATAでは、全国旅行業協会(ANTA)とも協力して、ツアー登山に伴う安全確保と旅行者の利便向上、ツアー登山を実施する地域との共生、自然環境の保全などの活動を行ってきました。今年度は、日本山岳ガイド協会の協力を得て独自の認定講習会も開催し、旅行業界全体としての安全な登山への意識の底上げにも取り組んでいきます。

高井部長は「インバウンドも含めてウイズコロナの時代における旅行テーマの多様化やアウトドア志向に対応できる」とその意義を強調しています。

RESAS
Regional Economy Society Analyzing System
地域経済分析システム

観光予報
はじめました

地方創生の取り組みを支援する観光予報システム

観光予報は、観光地マーケティングの基礎的な概念を理解することが必須であるだけでなく、観光地マーケティングに求められるデジタル分析のスキル習得も不可欠となる